



ブラジル日本商工会議所 2024年部会長フォーラム

2023年下期の振り返り並びに今後の展望

2024年3月20日
貿易部会

目次

□貿易部会アンケート質問事項と結果	P- 3 ~ 6
□貿易統計による考察：	
・ ブラジル貿易収支推移	P- 7
・ ブラジル輸出入 上位15品目・上位10か国の推移	P- 8 ~ 11
・ 対日貿易動向	P- 12
・ 対ブラジル直接投資動向	P- 13
□2024年の展望（注目テーマまとめ）	P- 14

貿易部会

2024年部会長フォーラムに係るアンケート

副題「2024年、ブラジル民間投資拡大の可能性～現地市場ニーズの取り込みに向けて～」を踏まえ、下記質問項目を設定した。

1. 下記3点についてご意見をお願い致します。関係のある事項に絞って頂いて構いません。
 - ①足元の失業率の低下、高インフレの終息を背景とする利下げの進展、これらに伴う民間需要拡大の可能性
 - ②欧米の金利の上昇サイクル終了に伴う相対的な実質金利高を背景とするブラジル投資の魅力拡大の可能
 - ③ブラジル政府による新成長加速化計画（Novo PAC）や税制改正の実現などによる投資環境の整備
2. 副題に関連して、投資拡大や現地市場ニーズの取り込みを見据えたブラジル事業における今後の事業展望を可能な範囲で教えて頂けると幸いです。

貿易部会

2024年部会長フォーラムに係るアンケートご回答

JETRO様

下記3点についてご意見をお願い致します。関係のある事項に絞って頂いて構いません。

- ①足元の失業率の低下、高インフレの終息を背景とする利下げの進展、これらに伴う民間需要拡大の可能性
- ②欧米の金利の上昇サイクル終了に伴う相対的な実質金利高を背景とするブラジル投資の魅力拡大の可能
- ③ブラジル政府による新成長加速化計画（Novo PAC）や税制改正の実現などによる投資環境の整備

①に関連する事象として、2023年度 海外進出日系企業実態調査（中南米編）より、ブラジルについて記載されている箇所を一部抜粋して以下記載いたします。詳細については本調査をご確認いただければ幸いです。

(https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/c9936f87d6a3530c/20230028.pdf)

- メキシコとブラジルが景況感改善を下支え、前者は自動車産業の需要拡大、後者は旺盛な内需が牽引
 - ・2023年の営業黒字見込みの割合は前年比1pt増の64.8%、景況感を示すDI値（注1：当該年の営業利益見込みが前年に比べて「改善」と答えた比率から「悪化」と答えた比率を引いた数値）は前年比4pt増の24.3ptだった。両指標共に世界全地域計を上回り、特にDI値は世界全地域計（4.5pt）の5.4倍となった。この動きを牽引したのは進出日系企業の生産拠点が集積するメキシコとブラジル。業種はメキシコでは自動車関連の比率が高く、ブラジルでは幅広い。
 - ・ブラジルの9月の実質金利は米国の3.5倍超と世界主要国で2位を記録。現地通貨高にもかかわらず、経済成長と失業率低下を維持したことが現地市場ニーズの拡大と輸入調達コスト低下に作用し、景況感を示すDI値改善につながった。ブラジルでは自動車のほか、幅広い産業で市場ニーズが拡大した。中南米全体の2024年DI値見通しはさらに上昇し、38.4ptに達する。
- 今後1～2年の事業拡大割合は南西アジアに次ぐ水準に、現地市場ニーズ拡大に対応
 - ・今後1～2年の事業拡大割合は前年と比べて6.5pt上昇し、54.4%となった。世界全地域計（47.0%）より7.4pt高く、インドを含む南西アジアに次ぐ地域となった。事業拡大割合を牽引したのはブラジル。事業拡大割合の前年比増加幅（14.7pt）が世界主要国でトップとなったブラジルが際立っている。
 - ・事業拡大の要因はいずれの国も「現地市場ニーズの拡大」。拡大する機能はいずれの国も販売機能がトップ。次いで新規事業開発、カスタマーサービスの順。ニアショアリングの影響から、米国市場向けのメキシコ、ブラジル市場向けのアルゼンチンのそれぞれで生産機能強化の比重が他国より高かった。
- 現地市場ニーズ拡大に伴う輸入部品増加基調は変わらず
 - ・「現地市場ニーズの拡大」を取り込むため、向こう2～3年と5年で所在地国の売上高シェア（注グループ全体の売上高に占める、回答企業進出先の売上高のシェアを指す）を拡大する企業割合はそれぞれ44.2%、51.1%と世界全体（各々37.8%、47.1%）を上回った。一方で、現地調達率はペルーを除き世界全体を下回っており、短期的にはその「現状維持」を見込む企業が大半を占めることから、今後も輸入部品需要の継続が見込まれる。

副題に関連して、投資拡大や現地市場ニーズの取り込みを見据えたブラジル事業における今後の事業展望を可能な範囲で教えてくださいと幸甚です。

今後1～2年の事業展開の方向性：

- ブラジルでは「拡大」の回答が国別で世界トップクラスの68.9%となった。
- とあるように、今年も各日系進出企業の投資動向などを注視していくとともに、各企業にも調査の際にはご協力いただければ幸いです。

貿易部会

2024年部会長フォーラムに係るアンケートご回答

メーカー（医療、機械など）

下記3点についてご意見をお願い致します。関係のある事項に絞って頂いて構いません。

- ①足元の失業率の低下、高インフレの終息を背景とする利下げの進展、これらに伴う民間需要拡大の可能性
- ②欧米の金利の上昇サイクル終了に伴う相対的な実質金利高を背景とするブラジル投資の魅力拡大の可能
- ③ブラジル政府による新成長加速化計画（Novo PAC）や税制改正の実現などによる投資環境の整備

副題に関連して、投資拡大や現地市場ニーズの取り込みを見据えたブラジル事業における今後の事業展望を可能な範囲で教えて頂けると幸いです。

③ブラジル政府による新成長加速化計画（Novo PAC）や税制改正の実現などによる投資環境の整備に期待を寄せています。計画は見ましたが、実現までの進捗管理、トレース、実行責任という点に不安を感じています。

弊社事業は現地ニーズの取り込みを積極的には行わず、グローバルスタンダードの普及を目指しています。

利下げによる自動車ローンの低下、自動車生産台数の増加、欧米との金利差によるブラジル投資の拡大、リアル高による海外からの輸入取引の拡大に期待している。

ブラジル製造業の生産性の向上に向けIoT、Industry4.0、AIといった技術をベースとしたDXソリューション事業の展開が期待できる

貿易部会

2024年部会長フォーラムに係るアンケートご回答

卸・小売、商社

下記3点についてご意見をお願い致します。関係のある事項に絞って頂いて構いません。

- ①足元の失業率の低下、高インフレの終息を背景とする利下げの進展、これらに伴う民間需要拡大の可能性
- ②欧米の金利の上昇サイクル終了に伴う相対的な実質金利高を背景とするブラジル投資の魅力拡大の可能
- ③ブラジル政府による新成長加速化計画（Novo PAC）や税制改正の実現などによる投資環境の整備

副題に関連して、投資拡大や現地市場ニーズの取り込みを見据えたブラジル事業における今後の事業展望を可能な範囲で教えて頂けると幸いです。

①、③について関心があります

輸出メインのため、特にありません。

③に関して、カーボンクレジット市場の整備や税制改正によりブラジルに対する投資の国際的競争力が増すことを期待する。

ブラジルにおける農畜産生産効率の向上、環境改善に資する分野でのビジネス拡大を目指したい。

③について注目している。但し、具体的な政策への落とし込み次第であり、相応に時間がかかるとも考える。当社ビジネスに取り前向きな施策となるか、動向を注視していく。

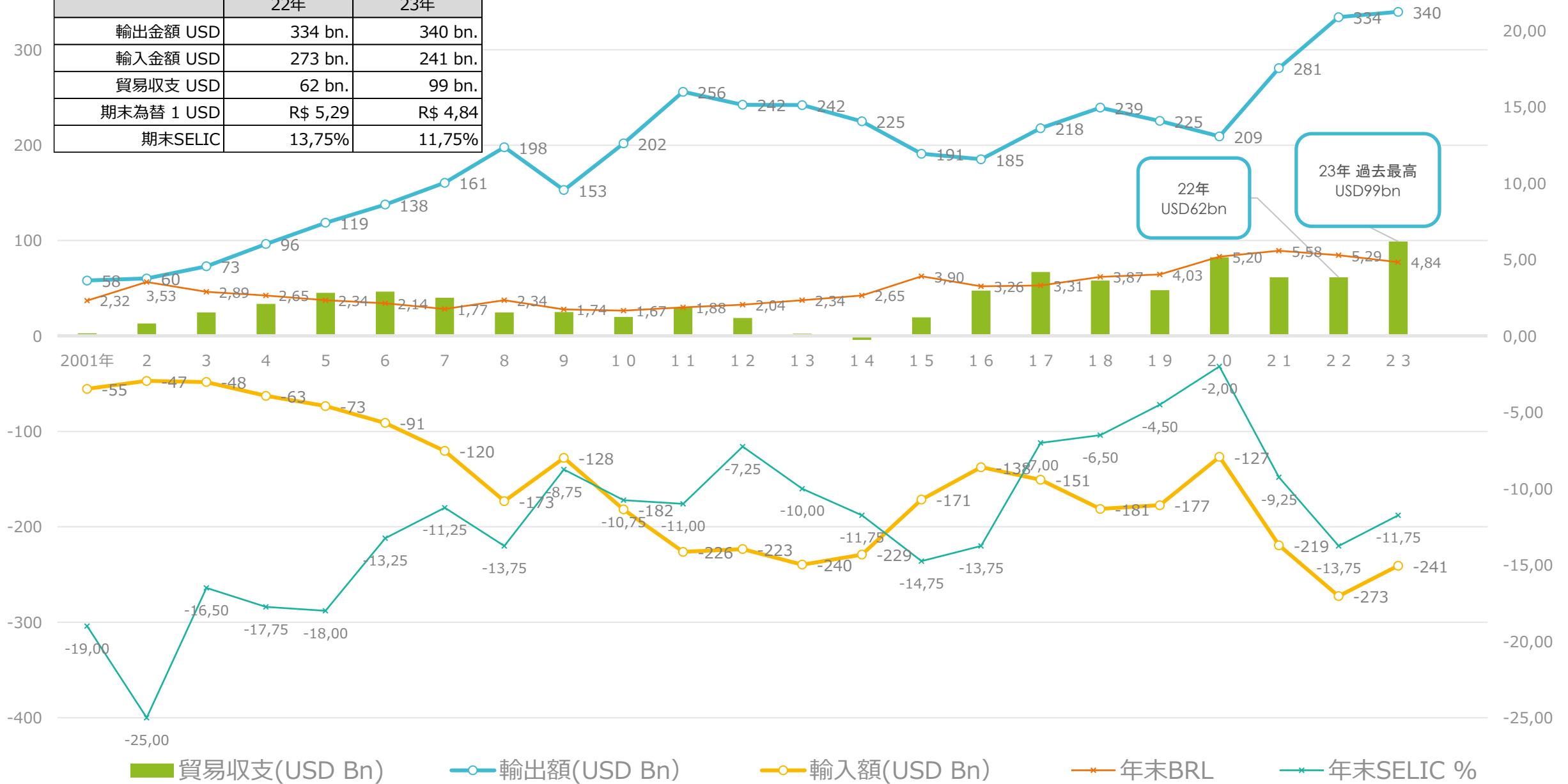
農業残渣を活用した脱炭素関連ビジネスや、厚みのある内需に直結したコンシューマー関連ビジネスに商機があると考えます。

ブラジル貿易収支推移(2023年末迄)

貿易収支・為替・金利推移

22年/23年 通期比較

	22年	23年
輸出金額 USD	334 bn.	340 bn.
輸入金額 USD	273 bn.	241 bn.
貿易収支 USD	62 bn.	99 bn.
期末為替 1 USD	R\$ 5,29	R\$ 4,84
期末SELIC	13,75%	11,75%



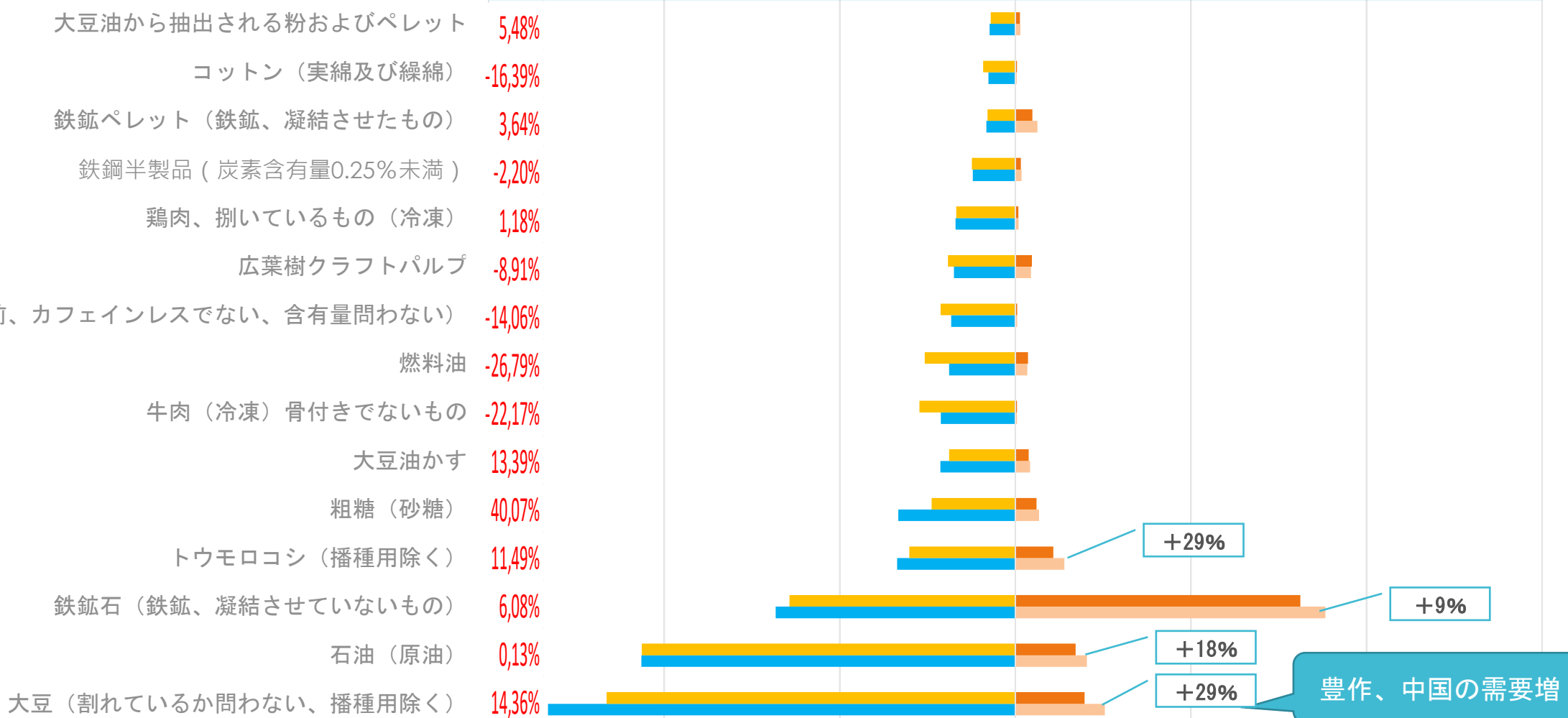
2023年 輸出品目Top 15 推移 (22-23年)

左：輸出額 (USD百万) / 右：輸出量 (1000トン)

■ 2022年輸出額 ■ 2023年輸出額 ■ 2022年輸出量 ■ 2023年輸出量

22年→23年金額伸び率

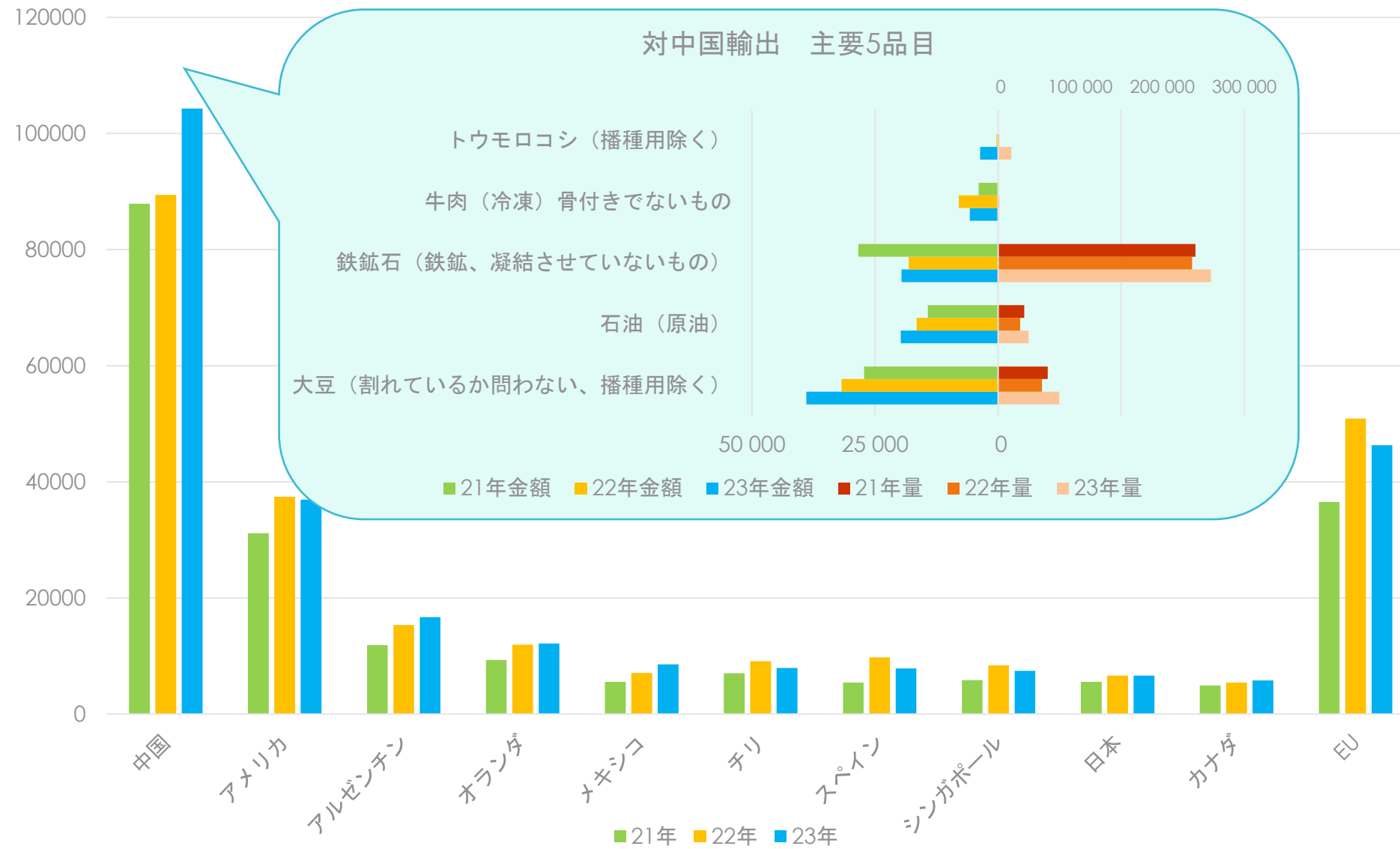
0 200 000 400 000 600 000



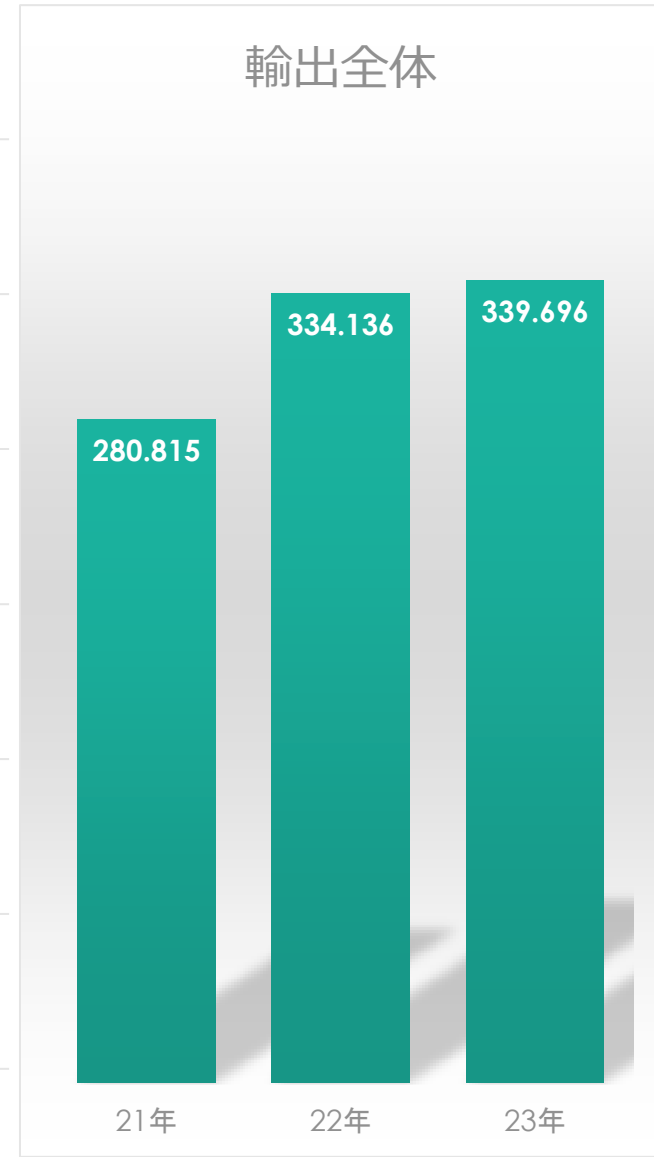
豊作、中国の需要増

輸出相手国 21年～23年 推移 金額 (USD百万)

輸出相手国 金額推移



輸出全体



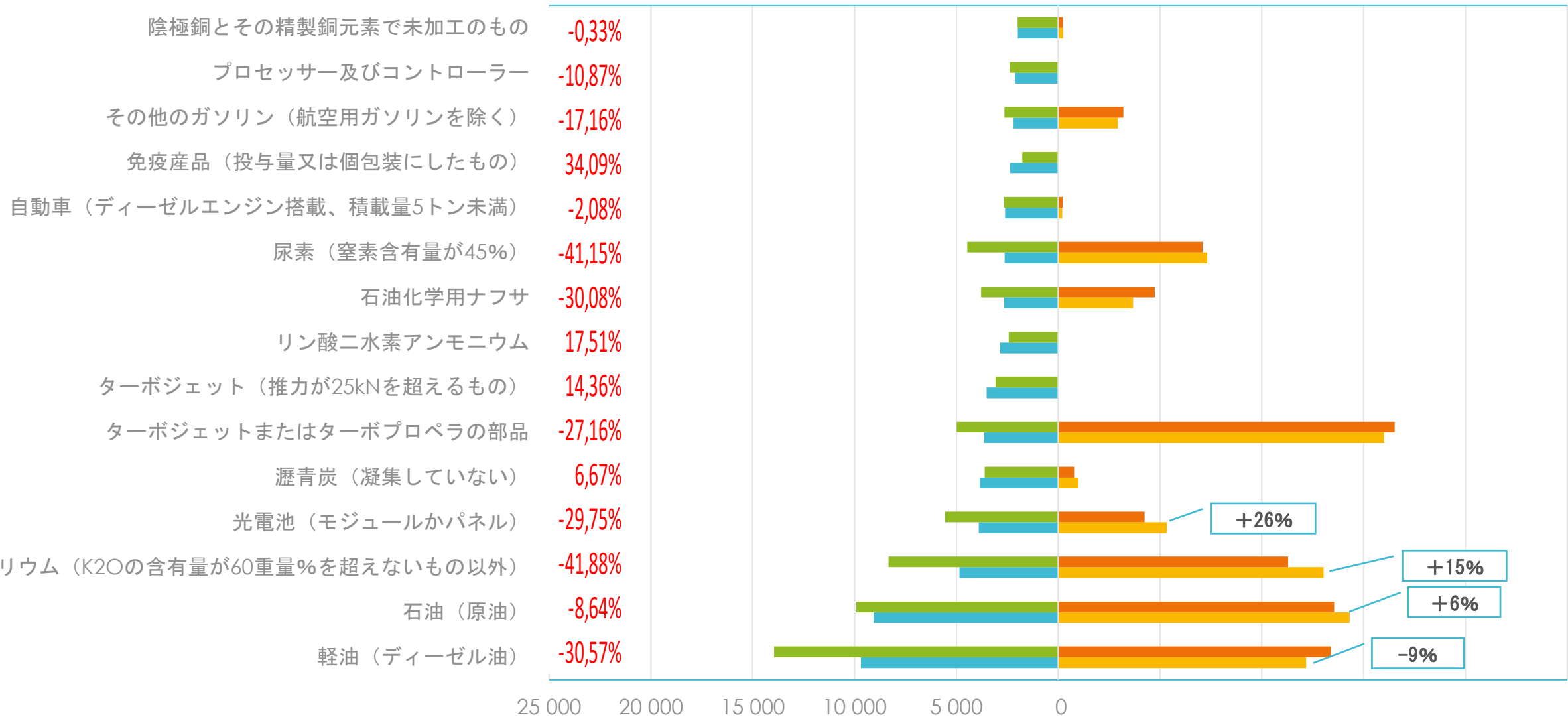
2023年 輸入品目Top 15 推移 (22-23年)

左：輸出額 (USD百万) / 右：輸出量 (1000トン)

■ 2022年輸入額 ■ 2023年輸入額 ■ 2022年輸入量 ■ 2023年輸入量

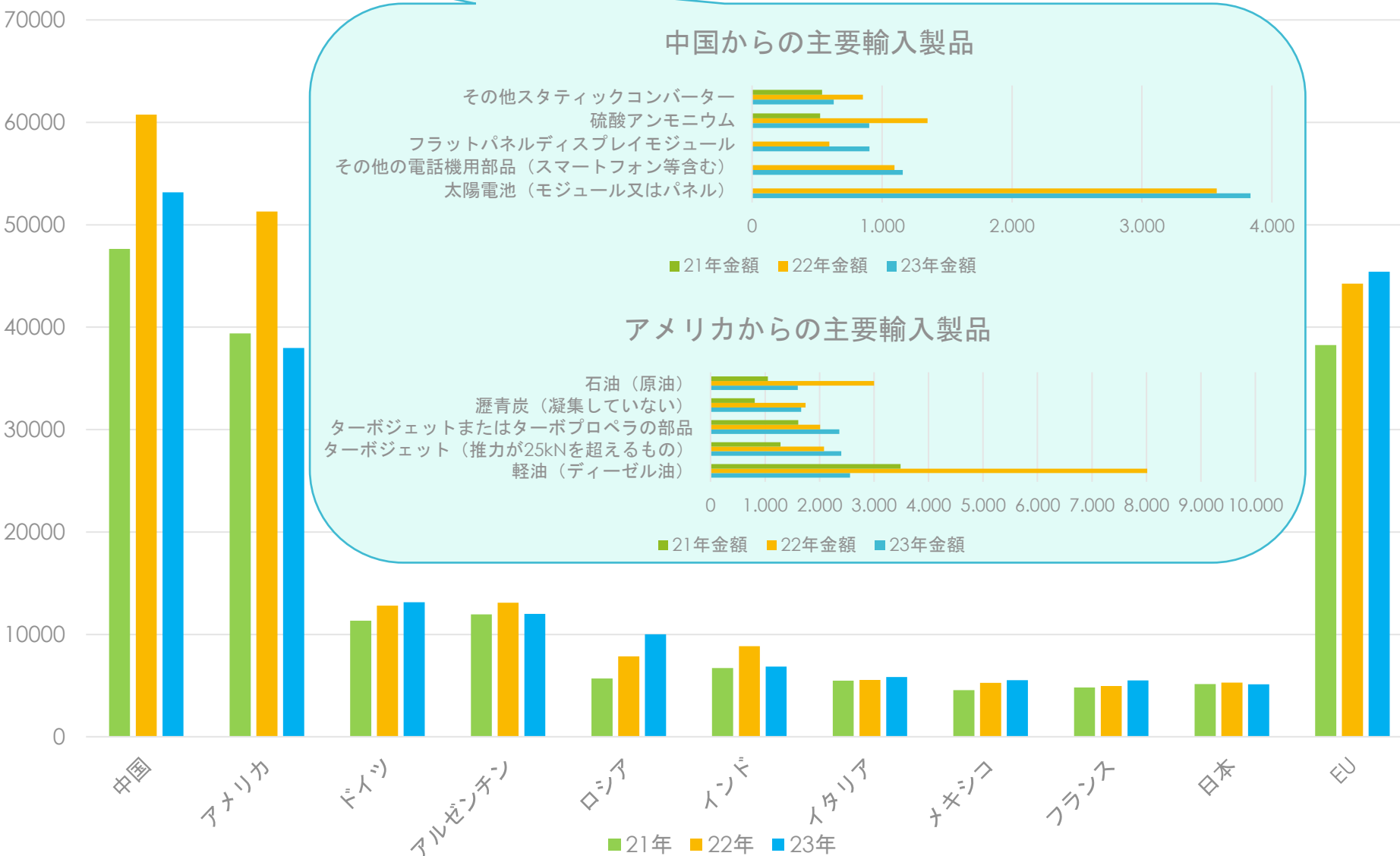
22年→23年金額伸び率

0 5 000 10 000 15 000 20 000 25 000

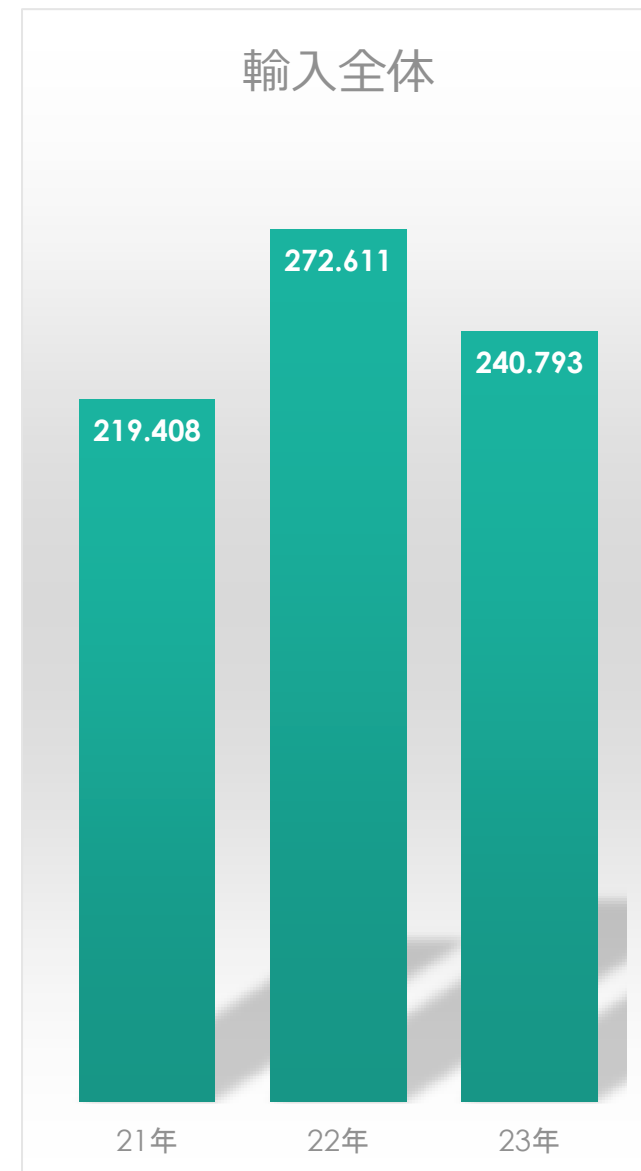


輸入相手国 21年～23年 推移 金額 (USD百万)

輸入相手国 金額推移

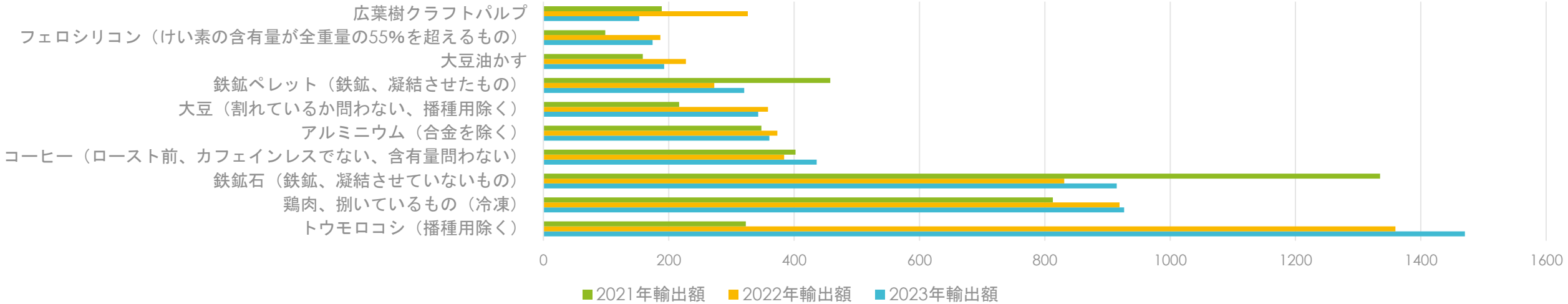


輸入全体

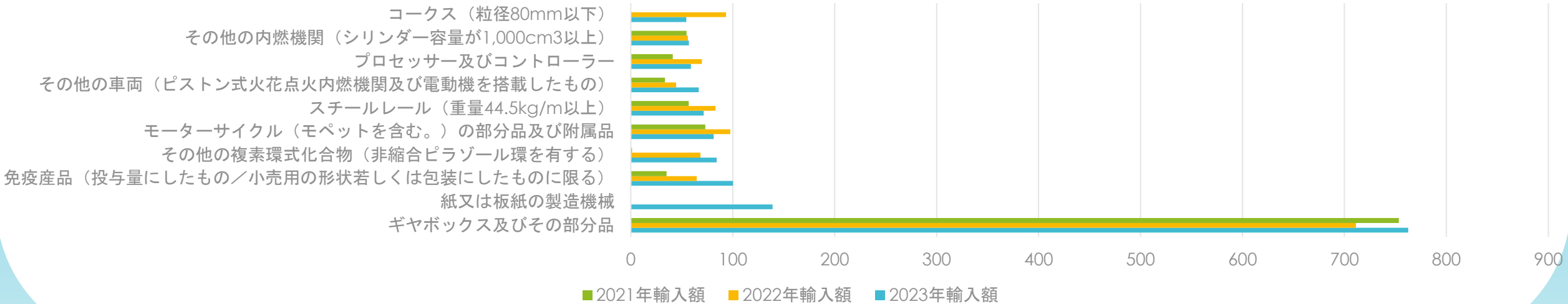


21～23年：日本との貿易 輸出/輸入金額推移 (USD百万)

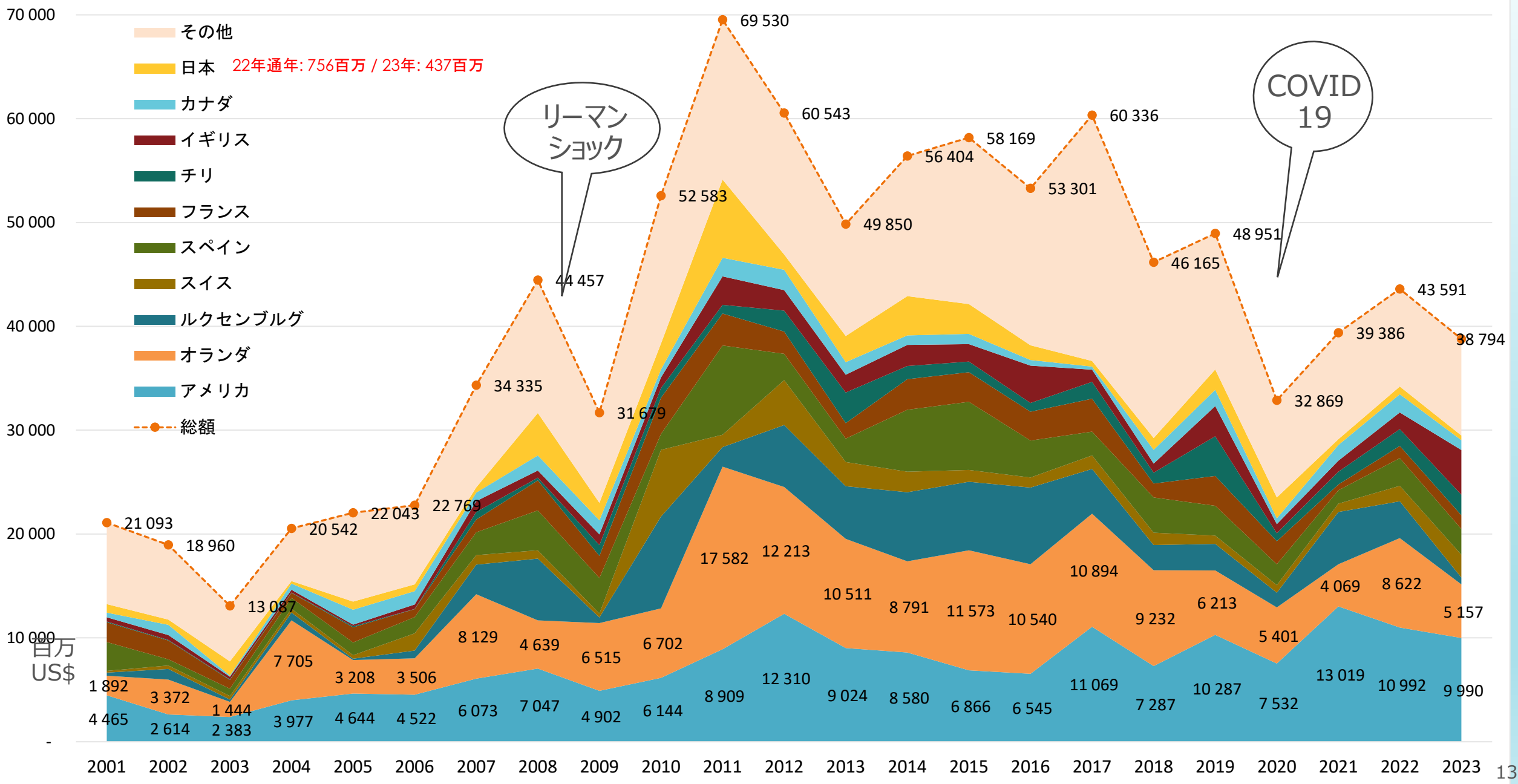
輸出 (ブラジル→日本)



輸入 (日本→ブラジル)



対ブラジル直接投資動向(2023年)



2024年の展望

アンケート結果振り返り

フォーラム副題「2024年、ブラジル民間投資拡大の可能性～現地市場ニーズの取り込みに向けて～」に対応する注目テーマ：

【税制改革】

税制簡素化により投資における国際競争力が増す期待。
一方で各種税制の変更による実質増税の影響を注視。

【金利】

欧米との金利差による投資の拡大。利下げによるローンの低下で内需の活性化。

【リアル高】

輸入取引の拡大、輸入部品需要の継続。

【ブラジル政府の新成長加速化計画（Novo PAC）】

具体的な施策への落とし込み次第。時間がかかる可能性。

【グリーン投資】

脱炭素関連ビジネスの成長期待。
カーボンプレジット市場の整備による投資増加。

【コンシューマー関連ビジネス】

経済成長・失業率低下による現地市場ニーズの拡大への対応。

【製造業や農業の生産性向上】

機械化推進、DXソリューション等。